



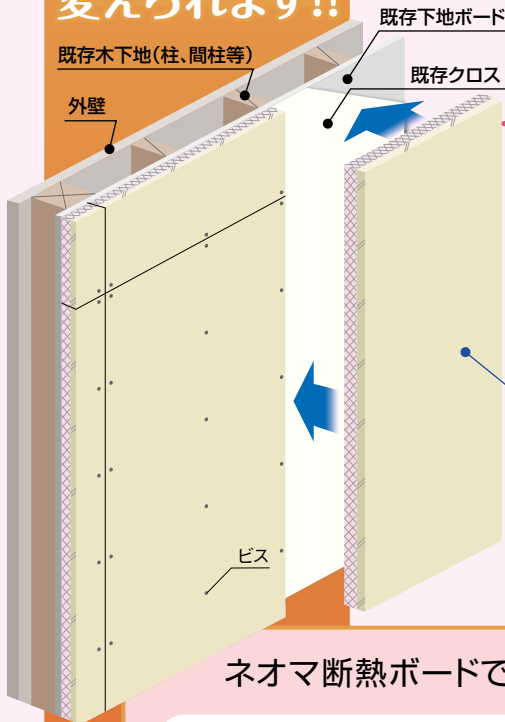
内装断熱リフォーム専用 高性能断熱ボード [準不燃材料認定品]

ネオマ断熱ボード®

断熱リフォームで
変えられます!!

高性能フェノールフォーム複合石膏ボード [準不燃材料認定品 QM-0825]

既存の壁・天井に取り付けるだけの簡単施工で、
手軽に断熱リフォームが可能です。



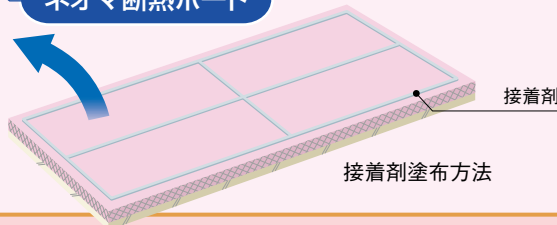
住みながら施工ができます。

既存の壁・天井の内側から接着剤とビスで取付ける簡単施工。解体に伴う廃材もほとんどなく、工事も軽微で、住みながら施工が可能です。



既存壁の内側からボード取付け

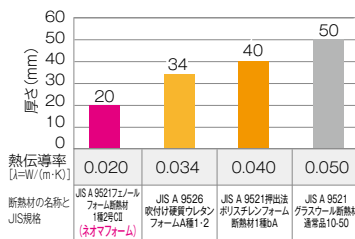
ネオマ断熱ボード



ネオマ断熱ボードで、高い断熱効果と安心できる断熱リフォームを。

高性能

世界最高レベルの断熱性能を持つネオマフォーム。壁厚さを抑え、すっきり納めることができます。



同断熱性能厚さ比較 [熱抵抗 1.0(m²·K)/W]

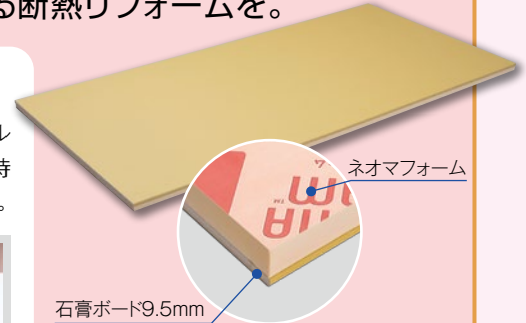
安全・安心

ネオマフォームは熱に強いフェノール樹脂。火に当たっても炭化し、燃焼時の発生ガスも少なく、安全・安心です。



ネオマフォーム 他素材の例

燃焼性比較実験



軽量性

軽量(約12.6kg/枚)で持ち運びやすく、加工性も良好です。

製品構成

| 断熱材 | 複合材料 |
|--|----------------|
| ネオマフォーム JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CII JIS A 9511A種フェノールフォーム保温板1種2号 | 石膏ボード 9.5mm |

製品規格

| 品番 | 厚さ [mm] | | | 幅 [mm] | 長さ [mm] | 重量 ^{※1} | | 熱抵抗 ^{※2} [(m ² ·K)/W] |
|-------|---------|-------|------|--------|---------|------------------|----------------------|---|
| | ネオマフォーム | 石膏ボード | 総厚 | | | [kg/枚] | [kg/m ²] | |
| RS-20 | 20 | 9.5 | 29.5 | 910 | 1820 | 12.1 | 7.3 | 1.0 |
| RS-25 | 25 | | 12.4 | | | 7.5 | 1.3 | |
| RS-30 | 30 | | 12.6 | | | 7.6 | 1.5 | |

※1 重量は標準的な重量を示しています。

※2 ネオマフォーム単体(複合材料の断熱性能を含まない)の断熱性としています。省エネ計算を行う際には石膏ボードの熱抵抗0.04[(m²·K)/W]を加算することができます。(石膏ボードの熱伝導率:0.22W/(m·K)前提)

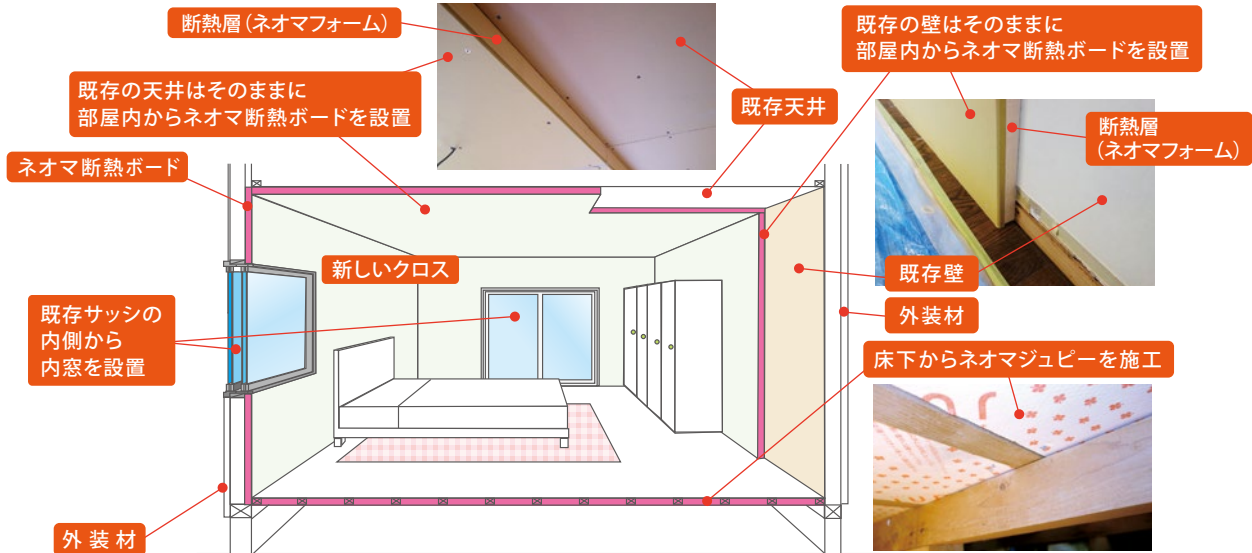
※石膏ボード側の端部形状はベベルエッジです。 ※上記以外の厚さの商品については、別途、お問合せください。



住みながら施工

既存の壁・天井・床はそのままに断熱化を進めるので、短期間で住みながらリフォームが可能です。

壁や天井は「ネオマ断熱ボード」、開口部(サッシ)は内窓、床は床下から床用断熱材「ネオマジュービー」を設置します。



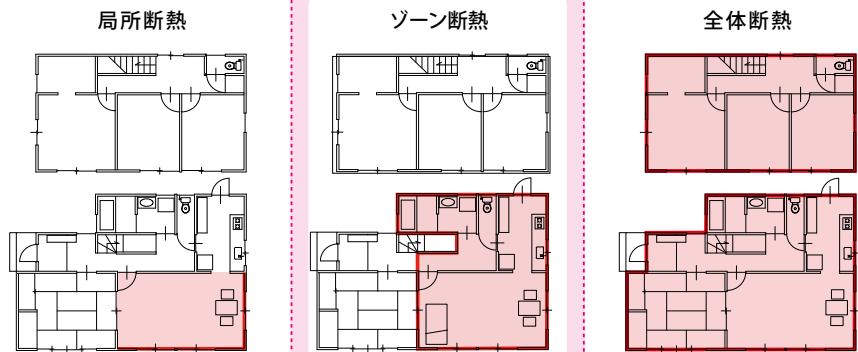
※既存クロスの上からも施工可能です。(下地位置の確認のため、既存クロスをはがすことをおすすめします)



ゾーン断熱®

日常の生活で使用する居間や台所、寝室、水回りとそれらを結ぶ廊下を生活ゾーンとして、断熱する工法。

家全体を断熱する場合と比較して、簡単な工事でリフォームが可能です。



※1階LDKがベッドルームも兼ねる例です。

日常の生活で使用するゾーンを効率よく断熱。

〈注意事項〉

- このパンフレットは、木造の建築物に施工するネオマ断熱ボードに関する一部を紹介したものです。
適用範囲(部位、下地、仕上等)および施工方法等の詳細に関しては「ネオマ断熱ボード施工マニュアル(木造用)」を必ず確認の上、遵守願います。
- 真壁の施工方法に関しては、施工方法が異なります。詳細は施工マニュアルを参照ください。
- ネオマフォーム、ネオマジュービーの詳細については、「ネオマフォームカタログ」「ネオマジュービーカタログ」を参照ください。
- 記載内容の仕様、物性、品質等は予告なく変更することがあります。
- ご使用に当たっては、安全確保及び関連法規の順守をお願い致します。
- ネオマ断熱ボードは1枚当たり約12.6kgあります。天井にお使いの場合は下地の強度を確認したうえで施工してください。
- RC造の建物にご使用の際は、別途弊社までお問合せください。

旭化成建材株式会社 <http://www.asahikasei-kenzai.com/>

本社 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105(神保町三井ビルディング) TEL.03-3296-3531 FAX.03-3296-3535
札幌 〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目1(マイト札幌ビル) TEL.011-261-5443 FAX.011-261-0975
仙台 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1(仙台ファーストタワー) TEL.022-223-8171 FAX.022-211-9526
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11(名古屋インターシティ) TEL.052-212-2251 FAX.052-212-2257
大阪 〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23(中之島ダイビル) TEL.06-7636-3838 FAX.06-7636-3828
広島 〒730-0017 広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル) TEL.082-511-5110 FAX.082-511-5127
福岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3(紙与薬院ビル) TEL.092-526-2107 FAX.092-526-2492

●お問い合わせは